

三峯神社奥宮

妙法ヶ岳

標高 1,332m

山行実施日

2016年

10月10日

メンバー

植 M(L)、福 D
美 (S L)、
福 D 利、世 K、木
藤 W、S 々、0
雅、W 部、
栗

十月の三連休の最後の日、お天気が落ち着き8名のメンバーで行つてくることが出来ました。

車で行くが大渋滞に巻き込まれるから電車、バスにしようと朝、大宮発6時53分の電車を集合としました。ホームで6名が集まり、電車内で1名が合流、熊谷駅で秩父線に乗り換え(一日フリー切符)、途中で1名が合流し全員が集合。

御花畑で降車し、西武秩父駅で三峯神社行きのバスを4名が先に並んで待っていると、親しげに話しかけてくる中年の男性。「ねえ、一緒に車で三峯神社までいかない?」「私達8人いるよ。」「そうなんだ。」「あなたは、神社へお参りなの?」「え、行かないよ。」「何が目的なのか、白タクか?皆さん、気を付けましょう。バスに揺られること1時間強、1月に雲取山へ行った時と同じ駐車場の入り口、雲取山までは長い道のりでした。

登り口を確認し、10時40分に出発。ビジターセンター前を過ぎ、道沿いの古民家に立ち寄り、むさびの巣穴の看板。今は、この中で眠っているのかな?

鳥居を抜けて緩やかな道を賑やかに談笑しながら歩いて行きました。11時14分には妙法ヶ岳分岐に着。20分ほど進み、分岐を経て頂上に近くなると岩場が見えてきました。すれ違う帰りの御婦人から「いやあ、大変な思いでした。気を付けて。」

「ん、頂上直下の岩場はやはり危険なのだ。」今回の参加者の知人の方が20数年前に頂上直下の岩場で足を滑らせて亡くなったとのこと。を事前に聞いていたので、参加者の皆さんにはシュリンゲ(長・短を各1〜2本)、カラビナ2枚(1枚は環付き)を個人装備に加えてもらっていました。進んでいくと、2mほどの木製の橋は一部折れたり、間が抜

けていて、側の鉄製の手摺りはぐらぐらと安定せず、そーっと足を進めました。続く岩場は鎖があり、岩のへこみを足場にして1歩ずつ進み、ようやく頂上へ。「はー、無事に全員登れた。でも、帰りの方が難しいかな。」と少し考えた後、福Dさんや

部さん達が材料を用意して頂いたすき焼き作りへ。お腹も減っていて、とても美味しく頂きました。ありがとうございました。食べた分、荷物の重さは減り、それぞれのお腹へエネルギーをプラスした勢いで、いざ、帰り道へ。山の方を向いて一歩ずつ岩場を降り、抜けた木製の橋は山側の岩を手掛かりに一手ずつ確認して無事に渡り終え、一安心。後は緩やかな道を賑やかな話しを咲かせながら登り口まで帰ってきました。時間に余裕があったので、三峯神社まで歩こうとなり、鳥居を過ぎましたが本殿はなかなか見えずもう少し歩こうか、お土産屋さんに寄ろうか? うん、神社は奥宮へ行って来たか



らしいよね、となり飲み物を片手にお土産を見た後、帰りのバスに1時間ほど揺られ三峰口駅から秩父線に乗り込んだ後、一日の頑張りをお互いに喜びあつて解散となりました。皆さま、お疲れ様でした。(記 植)

コースタイム

三峯神社 10:40 - 妙法ヶ岳分岐 11:14 - 分岐 11:47 - 妙法ヶ岳 (三峯奥院) 12:16 ~ 13:05 - 分岐 13:41 - 妙法ヶ岳分岐 14:13 - 三峯神社 14:26